

〔 27 監理と施工 〕

【No. 1】 工事監理業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 工事公害防止など近隣対策等の検討及び助言
2. 解体撤去部分の取り合い、処理方法の確認及び助言
3. 施工者の選定
4. 官公署中間検査の立会

答. 3

【No. 2】 監理・施工に関連する技術動向に関する次の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. BIM ----- 3次元CADを活用したビルディングインフォメーションモデル
2. VE手法 ----- コスト縮減などの手法として活用されている。
3. スtockマネジメント --- 資産を保全し、再活用する手法
4. CM方式 ----- 企画から施工・維持管理まで総合的にマネジメントする方式

答. 4

【No. 3】 基本設計段階の積算業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 事業計画をもとに、概略の積算を行う
2. 維持管理上のランニングコストの算出
3. コスト縮減のためのヴァリューエンジニアリングなどの手法を用いた代替案の提案
4. 各種の積算データを活用した工事費の算出

答. 1

【No. 4】 工事契約及び工事請負に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 発注者が施工者を任意に選定した特定の請負者に対して発注する方式を随意契約という

〔 27 監理と施工 〕

2. 契約書は工事請負契約書及び工事請負契約約款を用いて、発注者と請負者が対等の立場に立った契約を結ぶ
3. 品質管理は品質が設計図書ならびに契約条件に合致し、適切な水準を確保するように管理することである
4. 瑕疵担保責任とは、保証されるべき品質の欠陥に対し、工事監理者が修理、補修、損害賠償を負うべき責任である

答. 4

---

【No. 5】 工事契約に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 見積り合わせは随意契約の決め方の一つである
2. 分割請負方式は工事を分割して発注する方式で、発注先が多岐にわたるため、監理業務が煩雑になりやすい
3. リバースオークションとは、主にインターネット上で行われる入札である
4. P F I 方式は、主に民間施設の建設、維持管理、運営等に活用される新しい手法である

答. 4

---

【No. 6】 石に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 砂岩は水成岩に分類される。吸水率が高く汚れやすい
2. 大理石は外壁に使用すると、酸性雨などで表面が劣化しやすく、注意が必要である
3. 花崗岩は緻密で硬く建材等によく使用される。岩石中にしばしば化石が含まれる
4. 人造石はテラゾーと擬石とがある。テラゾーは大理石を種石とした人造石である

答. 3

---

【No. 7】 ガラスに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. フロート板ガラスは熔融金属上にガラスを浮かべて製造する
2. 複層ガラスは、2枚の板ガラスに透明な中間膜をはさみ、加熱圧着したもの
3. すり板ガラスは表面に無数の細かい傷があり、同じ厚みの透明ガラスに比べ曲げ強度などが弱い

4. 低膨張防火ガラスは鋼製枠と一体で防火設備に使用できる

答. 2

---

【No. 8】 金属材料に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 黄銅は銅とすずの合金であり、内外装板金加工などに用いられる
2. ステンレス鋼は鉄にクロムやニッケルなど耐食性を高める元素を多量添加する方法で製造される
3. アルミニウムの比重は鉄の約 1/3 と軽量であり、加工性にすぐれているが、熱膨張率は大きく融点も低いなど熱には弱いという特徴がある
4. 亜鉛鉄板はいわゆる「トタン」と呼ばれ、薄鋼板に亜鉛メッキをしたものである

答. 1

---

【No. 9】 次の材料の中で不燃材料でないものはどれか。

1. 板ガラス
2. グラスウール
3. 木毛セメント板
4. 厚さが 12 ミリ以上の石膏ボード

答. 3

---

【No.10】 建具工事に関する次の用語の組合せのうち、最も不適当なものはどれか。

1. フロアヒンジ ----- 重量シャッター
2. 自閉式上吊り引戸 ----- バリアフリー
3. 防犯建物部品としての建具 ----- CPマーク
4. 建具金物 ----- シリンダー

答. 1

---

【No.11】 木工事における主な材料の仕様・特徴に関する次の記述のうち、最も不適当

なものはどれか。

1. 合板 ----- 単板を奇数枚繊維方向に直交させて貼りあわせたもの
2. 繊維板 ----- ファイバーボードと呼ばれ、インシュレーションボード、MDF、ハードボードなどに分類される
3. パーティクルボード --- 合板などの基材に化粧張単板を貼ったもの
4. 集成材 ----- 大断面材や長尺物が可能。乾燥接着するために、割れ、狂いが生じにくい

答. 3

---

【No.12】 ガラス工事において、次の用語とその意味の組合せのうち最も不適当なものはどれか。

1. 鉛ガラス ----- 主にX線遮蔽ガラスとして医療機器に多く使用されている材料
2. かかりしろ ----- ガラス切断面の反射を無くす為や風圧力による板ガラスの窓枠からの外れ防止に必要な隙間
3. セッティングブロック --- エッジクリアランスにガラスの自重を受けるためのバックアップ材
4. 強化ガラス ----- 熱割れを防ぐためスチール製の網が入っている防火設備用ガラス

答. 4

---

【No.13】 家具・什器工事に必要な要求事項に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 椅子・テーブルが体の支持などの使用目的に合うような「使い勝手」の良さ
2. 外圧からの力に対し必要な強度を持ち、破壊や変形をしない「安全性」
3. 荷重を受けたときの変形や繰り返しの負荷に対する抵抗力などの「耐久性」
4. 非常時に破壊、もしくは焼却しやすい「脆弱かつ可燃性」

答. 4

---

【No.14】 軽鉄・ボード工事に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

〔 27 監理と施工 〕

1. 天井軽鉄下地組について、吊ボルト・インサート間隔は 900 mm 程度とする
2. 天井のふところが H500 mm 以上の場合は、必ず振れ止めが必要である
3. 壁面軽鉄下地組について、石こうボード一枚貼りの場合、スタッド間隔は 303 mm とする
4. 壁面軽鉄下地組について、石こうボード 2 層貼りの場合、スタッド間隔は 455 mm とする

答. 2

---

【No.15】 各種工事や材料に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. タイルの種類は、原料と焼成温度の違いにより、陶器質、ガラス質、せつ器質の 3 つに分類されている
2. 建具工事は使用場所によって耐風圧性、気密性、水密性などに関して所定の性能を要求される
3. 内装工事では下地の精度が大切で、仕上げ工程の前には必ず下地の検査が必要である
4. 家具・什器工事の寸法には人・物・空間の三つの要素がかかわっているが、基本的には人体寸法を基準にして機能的な寸法が決められている

答. 1